

特別支援学校準ずる教育課程（病弱教育）高等部3年

「アクティブ10レキデリ」を活用したアクティブ・ラーニング～小論文制作～

東京都立光明学園 病弱教育部門 主任教諭 川口 尚人

【実践報告の概要】

本校の高3は大学進学的一般受験とそれ以外とを考慮し、地歴・公民演習という本校独自の学校設定科目を設定して受験対策の教科指導と小論文対策とに分けて授業を実施している。地歴・公民で一般受験しない生徒は、1200～1600字の小論文が論理的に書けるようにこの授業で練習している。その中で日本史分野は「アクティブ10レキデリ」を視聴することでヒントとなり、思考の流れを習得することで既定の文字数が書けるようになった。まさに主体的で対話的な深い学びの実践であり、「レキデリ」はそのねらいに合う最適の教材となった。（25時間扱い） 【キーワード】 #定期市 #農業技術 #宋銭

【取組の具体】 準ずる教育課程高3日本史分野

単元名「中世」

本時2/5『定期市で庶民の生活はどう変わった？』

ねらい 定期市の定着で、庶民の生活がどのように変わってきたかを、資料を読み取ることで理解する。

1. 中世の経済活動について本日のねらいを確認する。
 - ・定期市で庶民の生活がどのように変わったのだろうか？
2. NHK for School「アクティブ10公民」第17回『定期市で庶民の生活はどう変わった？』を視聴する。
 - ・一斉視聴、同サイトの“あらすじ”をダウンロード、コピーして配布。
3. ワークシートに沿って各自で考え、記入する。
 - ・『松崎天神縁起絵巻』からわかること
 - ・農業技術の発達
 - ・鎌倉時代の買い物の様子
 - ・貨幣が普及すると生まれた新しいサービス業
4. 各自で考えたことを共有する。
 - ・ワークシートに沿って1つずつ意見を出していく。
5. 定期市の普及で庶民の生活はどう変わったのか。
 - ・ワークシートを順序立てて説明する。
6. 本時の感想を各自でまとめる。（発表はしない）
 - ・感想は毎回書いているワークシートに書く。
7. 小論文対策として思考の流れに沿ってまとめる。
 - ・時間があったら、授業の流れと同じような手順で文章をまとめて小論文にする練習をする。

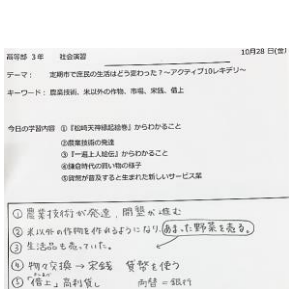


図1 ワークシート

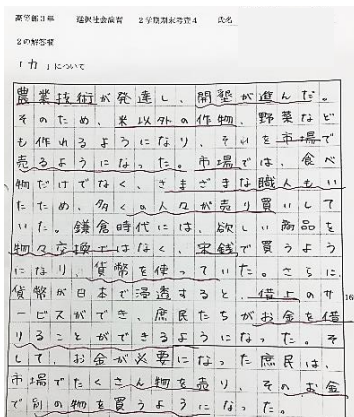


図2 定期市解答例

【活用番組と実践者による番組分析】

活用番組「アクティブ10レキデリ」

歴史資料をいろいろな視点で調べながら、歴史のなぞ解きに挑戦。視聴後に「もっと調べたい!」「友だちとこの問題を話し合いたい!」という意欲をかきたて、新しい学習指導要領で重視されるいわゆる“アクティブ・ラーニング”のスイッチを入れます。(同サイト番組紹介より引用)

- 中高生向きの番組で、今までなかった歴史資料の読み取り方、歴史の考察の仕方がよくわかる。
- 教科書に出ている事柄でも教科書だけでは理解できないことを紐解いてくれる。

【本実践における工夫点】

時代を通して庶民の生活を理解させる

- ・時代背景がわからなくても、提示された『松崎天神縁起絵巻』等の資料を読み解くことで庶民の生活の変化を推し量ることができるヒントを用意する。
- ・時代の流れの中で庶民の生活が少しずつ変化していること、室町時代頃には現代日本の基礎になる庶民の生活の仕組が定着してきたことを理解させる。

ワークシートの効果的な活用

- ・普段の授業で使っている形式で今回用に作ったワークシートを提示することで、思考の流れや活動の手順がよくわかるようにする。後日の振り返りや欠席した生徒のために「あらすじ」もダウンロード、プリントアウトして配布する。

小論文対策として思考や記述する手順を明示する

- ・番組のテーマを400字程度で小論文が書けるように、記述の展開を提示する。それぞれの部分を40～50字でまとめる練習をして、論理的に記述が展開できるように手順を明示する。それが慣れてきたら1200～1600字でも同様に行えるようにしていく。

【本実践の成果と課題】

- 本校では日本史Aのみの開設なので通史の学習は時間がとれないが、3年の学校設定科目地歴公民演習で、「レキデリ」をポイント的に活用することで簡単に学習に取り入れることができた。
- 小論文対策が、「アクティブ・ラーニング」をめざす「レキデリ」を使うことで、日本史としての小論文の書き方がわかるようになった。
- 放送回にない歴史的事柄の番組を早く見てみたい。